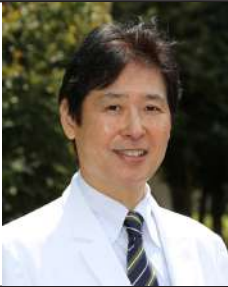


所 属・職 位	医学部医学科消化器・小児外科学講座・教授	
氏 名	猪股 雅史 (Inomata Masafumi)	
取 得 学 位	博士 (医学)、大分医科大学、1997年3月	
SDGs 目標	3 すべての人に健康と福祉を 4 質の高い教育をみんなに 9 産業と技術革新の基盤をつくろう	
研 究 分 野	消化器外科学、内視鏡外科学、腫瘍生物学、AIデータサイエンス	
研究キーワード	低侵襲手術、人工知能、産学連携、ビッグデータ、癌治療	
研 究 内 容	●内視鏡手術における人工知能を活用した腫瘍局および解剖学的ランドマークの術中リアルタイム指示システム開発 (科学研究費 基盤B：研究代表者) 内視鏡手術動画のビッグデータを用いた術中の解剖学的ランドマーク指示機能と特殊光を用いた腫瘍局在の指示機能を併せ持つ、人工知能活用の次世代内視鏡機器システムの開発 ●人工知能を用いた先進的内視鏡医療システムの開発 (AMED未来医療事業：研究代表者AMEDデジタルトランスフォーメーション事業：分担) 安全で精緻な内視鏡手術実現のため、人工知能を用い術中リアルタイムに解剖学的ランドマーク指示しうる先進的内視鏡医療システムを開発し、社会実装を実施 (論文1、特許1、2) ●内視鏡手術動画におけるビッグデータベースの基盤構築研究 (AMEDデータベース事業) 内視鏡手術動画を集積したビッグデータを確立するため、AMED事業および日本内視鏡外科学会とタイアップし、産業利用可能なシステム構築を実施 ●消化器外科手術におけるCOVID-19の影響を評価するNCDビッグデータ解析研究 (厚生労働科学研究費補助金 門田班・分担) NCDビッグデータを用い、胃癌・大腸癌・胆嚢良性疾患におけるCOVID-19感染拡大の影響を実施件数および治療成績の観点から明らかにする ●大腸癌における内視鏡手術の標準化に向けた大規模多機関共同研究 (AMED革新的がん医療実用化研究事業 金光班・清水班 各分担、内視鏡振興財団) 大腸癌に対する腹腔鏡手術・ロボット支援手術の標準化に向けた多機関共同ランダム化比較試験およびNCDビッグデータを用いた観察研究による有用性の評価 (論文2) ●抗癌剤脱毛のメカニズム解明と予防薬の開発研究 (株式会社アデランス共同研究) 二光子顕微鏡を用いた抗癌剤誘発脱毛のメカニズム解明と、新規抗酸化剤を用いた予防薬の開発研究 (特許5)	
研 究 業 績・アピールポイント	【代表的論文】 1) Development of Endoscopic Surgery Navigated by Artificial Intelligence Inomata M, Fujinaga A, Nakanuma H, et al. Surg Technol Int, Online, 2021 2) Survival outcomes following laparoscopic versus open D3 dissection for stage II or III colon cancer (JCOG0404): a phase 3, randomised controlled trial. Kitano S, Inomata M, Mizusawa J, et al. Lancet Gastroenterol Hepatol, 2(4) 261-268, 2017 【産学連携による主な共同研究および受託研究】 オリンパス株式会社、富士フイルム株式会社、株式会社アデランス、川澄化学工業株式会社、デンケン株式会社、カイゲンファーマ株式会社、株式会社日田天領水など 【主な特許取得】 1) 情報処理システム、内視鏡システム、学習済みモデル、2018.11.30 特願2018-044121 2) 小矩形自動フィッティングによる検出部表示技術：2020年9月25日受理 (OU-0437) 3) 光線照射治療装置 (ピロリ菌光線照射治療装置) 2017.9.21 特開2017-164223 4) 医療用組成物 (粘膜挙上剤)：2014.10.6 特開2014-188054 5) がん化学療法誘発脱毛に対する抗脱毛用組成物 2012.3.29 特開2012-62283	